

議会だより かみやま

第62号

2024.11.15

9月定例会



- 9月定例会 2頁
- 行政報告 3頁
- 令和5年度歳入歳出決算認定・令和6年度補正予算 4～5頁
- 9月定例会一般質問 6～9頁

9月定例会は、令和6年9月4日から12日までの9日間の会期で開催した。下記の16議案が提出され審議の結果、全議案について可決・認定・同意した。

9月10日には、4名の議員が一般質問を行った。

補正予算

- 令和6年度神山町一般会計補正予算（第2号）
- 令和6年度神山町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 令和6年度神山町簡易水道事業会計補正予算（第1号）

決算認定

- 令和5年度神山町一般会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度神山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度神山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度神山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 令和5年度神山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

条例等

- 神山町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- 神山町国民健康保険条例の一部改正
- 徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更
- 令和6年度神山温泉宿泊施設屋根改修工事請負契約の締結

人事

- 神山町固定資産評価審査委員会委員の選任
- 神山町教育委員会委員の任命
- 神山町人権擁護委員候補者の推薦（2件）

10日

一般質問 佐出 由恵 議員、仁志 哲也 議員、新居 榮二 議員、志甫 守 議員



町長の行政報告

神山温泉

8月1日のリニューアルオープンにあわせ平日5日間入浴無料を実施、5日間で5,018人の方にお越しいただき改めて観光拠点の重要な施設であると感した。今後も集客に注力していく。

南海トラフ地震

8月8日、日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震発生に伴い、大規模地震発生の可能性が平時に比べ相対的に高まっていると考えられ、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された。その後、大きな変動は観測されず、「特別な注意の呼びかけ」は終了されたが、日頃から地震への備えを、ご確認いただきたい。

台風10号

8月22日に発生し29日から徳島県に影響があった台風10号は、進路が大きく変わり、速度もゆっくりとなり、神山町でも被害があった。神領石堂の観測所で降り始めからの雨量は466ミリ、29日18時の時間雨量が広野観測所で80ミリを計測。土砂崩れが発生し、通行に支障

が出る状況となった。各避難所で累計15世帯20人の自主非難があった。今後発生する台風の動向にも注意し、町民の安全のため、注意喚起や災害対応、避難所対応を行っていく。

広域斎場整備

8月19日に石井町、板野町、神山町の3町で、広域斎場の整備及び管理運営に関する協定書を締結。令和9年度竣工に向けすすめている。施設整備限度額を32億円と見込み石井町9月定例会で債務負担行為を予算化する。今後も3町で力を合わせて完成に向け進めていく。

感染症予防接種

昨年5月8日から位置づけが5類へと移行した新型コロナウイルス感染症の予防接種について、厚生労働省よりの、65歳以上の者、60歳以上の障害を有する者等に対し、毎年度秋冬に1回行うこととなった。神山町においては、10月から予防接種ができるよう、県医師会や町医師団と連携し対応を進める。

役場の機構改革

今後発生の可能性が高い南海トラフ地震に備えるための防災部門と、人口減少の中、デジタル社会に対応しながら可能性を感じる町づくりの地方創生、DX部門についての組織の改編と産業観光課の鳥獣対策を専門に取組む部署の設置を検討している。

経済状況

8月の月例経済報告等に関する関係閣僚会議では、「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。」としており、先行きについて、雇用・所得環境が改善するもとで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとのこと。

令和6年度地方交付税

普通交付税の算定が終わり令和6年度交付額は25億7,839万8千円、前年比2.2%の増額となる。林野水産行政費、こども子育て費の増加、公債費の過疎対策事業にて償還額の増加による需要額の増加によるものが主な要因。町の歳入の4割程度を占める地方交付税は、円安や物価高騰の影響で、地方の経済規模回復が、いまだ苦況にあり、地方税など自主財源が脆弱な団体には、今後も厳しい状況になることが予測され、引き続き、歳入確保に取り組み、優先順位の高い事業を見極めるなど限られた財源の効率的な利用について、創意工夫に努め取り組んでいく。

一般会計の補正予算

今回3億9,195万3千円を増額。主なものとしては、総務費のまち・ひと・しごと創生推進事業基金積立金、私立大学等運営費補助金、衛生費の予防接種等委託料、災害復旧費の6月の豪雨により被災した箇所への復旧工事費などの追加。

補正予算



議案第62号 令和6年度 一般会計補正予算 (第2号)

歳入歳出それぞれ

3億9,195万円増額

予算総額

67億3,626万円

議案第63号

令和6年度神山町介護保険特別会計補正予算 (第2号)

50万円減額 総額 10億5,567万円

議案第64号

令和6年度神山町簡易水道事業会計補正予算 (第1号)

収益的収入 622万円増額 総額 2億1,195万円

収益的支出 569万円増額 総額 2億612万円

資本的収入 53万円減額 総額 2億577万円

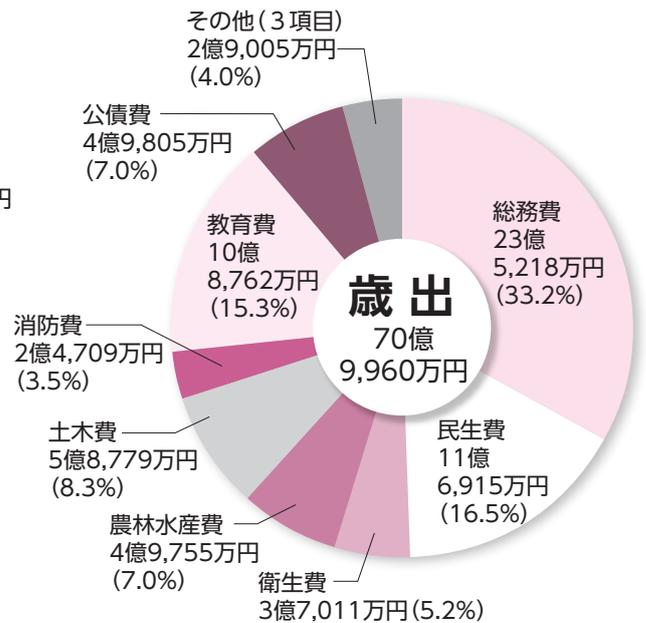
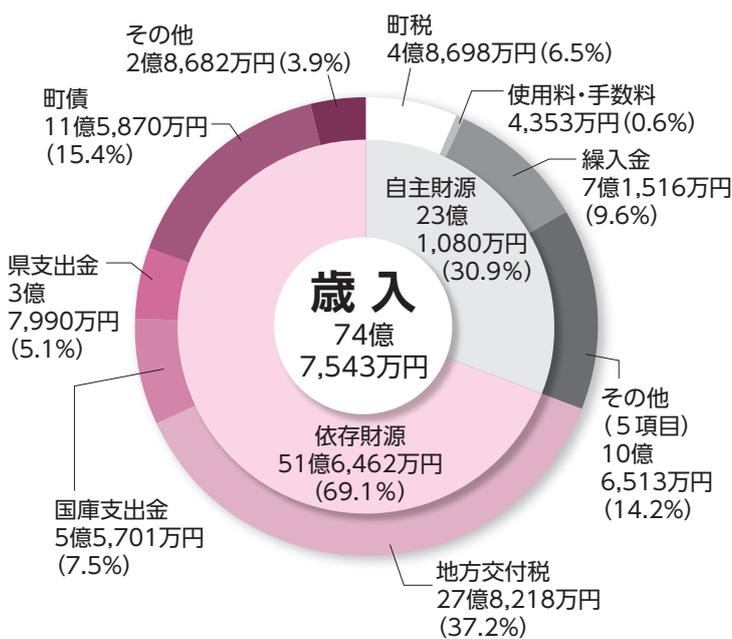
令和5年度

一般会計と特別会計合わせ

決算

98億5,094万円を認定!!

●一般会計決算の内訳



●令和5年度決算状況

会計区分	一般会計	特別会計				計	
		国民健康保険	簡易水道事業	介護保険	後期高齢者医療		
歳入	令和5年度	74億7,543万円	7億4,696万円	4億5,785万円	10億4,410万円	1億2,659万円	98億5,094万円
	令和4年度	86億8,677万円	7億2,824万円	5億208万円	10億5,913万円	1億2,300万円	110億9,925万円
	増減額	△12億1,134万円	1,871万円	△4,423万円	△1,503万円	359万円	△12億4,830万円
	増減率 (%)	△13.9	2.6	△8.8	△1.4	2.9	△11.2
歳出	令和5年度	70億9,960万円	7億3,955万円	4億1,627万円	9億9,693万円	1億2,631万円	93億7,867万円
	令和4年度	82億5,376万円	7億2,609万円	4億9,437万円	10億477万円	1億2,246万円	106億148万円
	増減額	△11億5,416万円	1,346万円	△7,810万円	△784万円	384万円	△12億2,281万円
	増減率 (%)	△14.0	1.9	△15.8	△0.8	3.1	△11.5

●令和5年度の財政状況

名 称	指 数		解 説
	令和5年度	令和4年度	
財 政 力 指 数	0.19	0.20	財政力を判断する指標、1を超えるほど財源に余裕がある。
経 常 収 支 比 率	78.7	74.7	財政構造の弾力性を判断する指数、70～80%が適正水準である。
実 質 公 債 費 比 率	2.7	2.5	全ての事業の公債費率で、18%以上は起債(借入金)に知事の許可が必要。

●令和5年度町税等未収金の状況

区 分	未収金		前年との比較	
	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率(%)
町 税	8,569,470	10,091,676	△ 1,522,206	△ 15.08
町 営 住 宅 使 用 料	3,930,500	3,132,800	797,700	25.46
国 民 健 康 保 険 税	3,154,992	3,037,691	117,301	3.86
簡 易 水 道 使 用 料	14,682,410	258,080	14,424,330	5589.09
介 護 保 険 料	229,100	256,000	△ 26,900	△ 10.51
後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	21,300	77,000	△ 55,700	△ 72.34
計	30,587,772	16,853,247	13,734,525	81.49

注) 簡易水道使用料の未収金の増大については、会計処理の変更に伴い決算時期が2ヶ月前倒しとなったため。

地方債現在高(3月31日現在) 62億3,829万円

●基金残高(令和6年5月31日現在)

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
一 般	財 政 調 整 基 金	30 億 8,070 万円	1,189 万円	30 億 9,259 万円
	減 債 基 金	9 億 3,648 万円	320 万円	9 億 3,968 万円
	そ の 他 の 基 金	70 億 7,006 万円	5,461 万円	71 億 2,467 万円
国 保	財 政 調 整 基 金	9,642 万円	△ 675 万円	8,967 万円
	そ の 他 の 基 金	500 万円	0	500 万円
水 道	簡易水道事業基金	3,128 万円	△ 3,128 万円	0 円
介 護	介護給付費準備基金	1 億 6,381 万円	1,128 万円	1 億 7,509 万円

人 事 案 件

議案第 73 号	神山町固定資産評価委員会委員の選任 北山 祐一 氏 神山町神領字大埜地 任期：令和6年10月1日～令和9年9月30日
議案第 74 号	神山町教育委員会委員の任命 高橋 三枝子 氏 神山町鬼籠野字東分 任期：令和6年10月3日～令和10年10月2日
議案第 75 号	人権擁護委員候補者の推薦 寺奥 幹生 氏 神山町神領字西野間 任期：令和7年1月1日～令和9年12月31日
議案第 76 号	人権擁護委員候補者の推薦 新居 伸一郎 氏 神山町神領字北上角 任期：令和7年1月1日～令和9年12月31日

一般質問



佐出由恵 議員



佐出議員の録画映像はこちらから

●質問1● ワクチン接種事業の概要について

10月より始まる定期接種の実施要綱の内容の説明を求めます。

答弁 健康福祉課長

65歳以上の方、60歳から64までで一定の基礎疾患を有する方を対象。1回接種で自己負担金2,000円で実施する。ワクチンの種類は、各医療機関で購入するので、まだ確定はしていない。

再問

明治製菓ファルマ社製のワクチンは、多くの専門家たちが、安全性及び倫理性に関する懸念を表明しているが、町はこれらのことを承知しているのか。

答弁 健康福祉課長

明治製菓ファルマ社のワクチンについては、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の審査報告書において、その

有効性について検証されている。

再々問

特例承認をされたワクチンを使った今回の自己増殖型ワクチンが安全であると考えるのか

答弁 健康福祉課長

現在のところ国の方からも使用中の連絡は来ていない。国からの連絡があれば対応する。

再々々問

地方自治体が予防接種法第一条に違反するとの指摘もある。国の指示を待つのではなく、町は積極的に情報収集する必要があるのではないか。

答弁 健康福祉課長

町の判断で中止をするのは難しい。予防接種は強制ではないので、自己判断で接種をお願いしたい。

●質問2●

小規模災害工事に ilişkin

小規模な災害復旧工事の定義と工事数の推移は

答弁 建設課長

降雨量が基準を超えた場合、町管理の公共土木施設の被害額が60万以上、農地農業用施設については被害額が40万円以上が国庫補助の対象となり県へ報告をしている。

再問

小規模な災害はどのように対応して

いるのか。

答弁 建設課長

道路では、業者に依頼したり職員で撤去作業をしている。

再々問

以前は10万円以下が「小災」と呼ばれていたが、現在はどうなっているのか。

答弁 建設課長

現在の状態は、13万円以下については、採択基準から外れる。

●質問3●

生コンの支給事業について

町道の舗装等に使う生コンクリートの支給事業の支給要件等事業の概要を問う。

答弁 建設課長

生コンの支給事業は、町道及び林道の未舗装部分や既設舗の補修など、地域住民が自ら施工するものについて地域住民より要望があった場合、事前に協議して、支給している。

再問

町道から雨水が流入し私有道路の補修が必要となった場合、私道は生コンの支給が受けられない。どのように対応しているのか。

答弁 建設課長

町道から私有地へ水が流れ込み補修が必要な場合、現地を確認し町で流入を防ぐ対策をとる。

●質問4● 県工事について

県が以前に行った地すべり対策工事の影響が出ている場合、県とどのように連携をとって動いているのか。

答弁 建設課長

地域住民より通報があった場合、現地の状況の確認を行い県の管轄する部署へ電話連絡や状況写真、位置図等のメール等の送付を行い、場所や状況が分かりにくい場合は現地案内し対応について依頼している。

町も県と連携している状況を町民に知らせてほしい。

●質問5● 消防団について

町民の皆様から、消防団への寄附は問題がないとの認識がどうか

答弁 総務課長

消防団条例で団員個人への寄附は禁止されているが、団へは地域での決めた事なので町の方から指摘等するものではない。

再問

芳名録の貼り出しは無言の圧力となり寄附の強制に繋がる可能性が高いので、分団内での披露目程度にするよう町から指導することは可能か。

答弁 副町長

張り出しについては消防団と協議をしたい。

一般質問



仁志哲也 議員



仁志議員の録画映像はこちらから

●質問1● 神山中学校修学旅行につ

52

中学校の保護者より、修学旅行の行先について、問い合わせがあった。神山中学校の今年度修学旅行が、広島方面になった経緯を伺う。

答弁 教育長

今年度、神山中学校の修学旅行が、広島周辺になった経緯についてだが、神山中学校長から次のような報告を受けている。

令和元年度までは沖縄方面への修学旅行だったが、新型コロナウイルス感染症が全国的な広がりを見せ、特に沖縄県では新型コロナウイルス感染症の感染者が多く、沖縄県への修学旅行を度々延期することとなった。

そのため、広島方面への修学旅行となった。

広島方面への修学旅行で、一番大きな目的は平和学習である。人類史上最初の原子爆弾による惨禍や、核兵器廃絶と世界平和実現を学ぶ大変大切な場所である。そして、学ぶだけでなく、自分たちに何ができるのか、何をすべきなのかまで踏み込んで考え、行動に移すためにも大切だと考える。

また、沖縄戦での語り部さんが高齢化しており、話を聞くことができなくなっているが、広島では体験者の話を聞くことができることも大きな要因となっているとのことである。

修学旅行は学習指導要領で、学校行事として位置づけられており、平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるとの趣意が込められている。

再問

学習指導要領に照らし合わせ慎重に事業を進めることは、大切だと感じたが、勝名地区の各中学校では、ほぼ沖縄方面への修学旅行と伺っている。

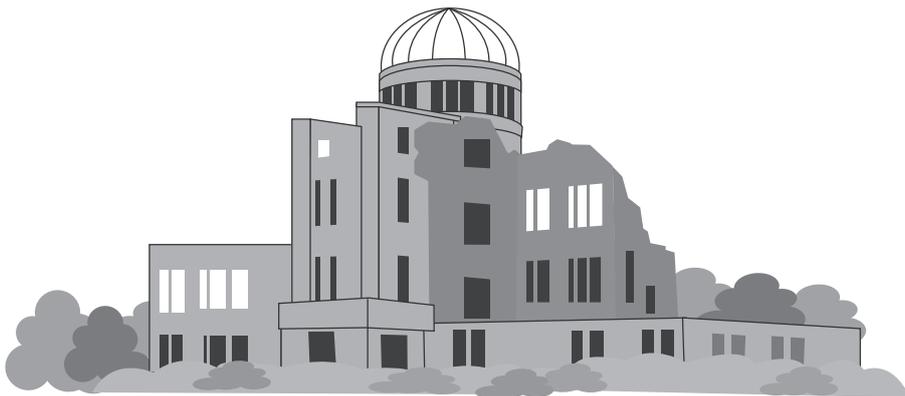
生徒達や保護者の要望に合わせて対応を検討することが出来るのか伺う。

答弁 教育長

勝名地区では、ほぼ沖縄方面だが、徳島市では、半数の中学校が沖縄方面、次が広島、岡山、兵庫方面、その次が長崎方面となっている。

修学旅行の行き先を決定するにあたって、生徒や保護者への希望を取り、行き先を決定することはできるが、沖縄県に行った場合、旅行費用だけでなく、病気やけが等で入院や帰宅しなければならぬ場合、保護者の負担が大きくなることが予想される。

今後、修学旅行先を決定するにあたっては、生徒や保護者の希望も確認した上で、丁寧な説明をしながら決定するよう申し伝える。



※勝名地区とは上勝町・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山村の5町村

一般質問



新居榮二 議員



新居議員の録画映像はこちらから

● 質問1 ● 神山の伝統芸能について

神山町の伝統芸能は上分の七福神おどり、神領地区では三つ拍子、四つ拍子、棒突き音頭、神山各地区には歌子とか、音頭等がたくさんあると思われるが今回は棒突き音頭について質問する。

現在音頭を歌える方は町内で4人しかいない。何百年も続いてきた郷土芸能はぜひ継承してもらわねばならない。町当局はどのように考えているのか。

答弁 教育長

現在、古くから郷土に伝わる各種芸能の保存振興は神山町芸能振興会や、神山文化協会が中心となって行ってきている。

棒突きの音頭とり育成には特化した事業を教育委員会として実施するのは難しい。音頭通りの育成に関しては神山芸能振興会の事業の一つになっている。音頭通りの育成については神山各地区に伝統文化を継承していくために大変重要なことと考えており、今後神山芸能振興会と協議してまいりたい。

● 質問2 ● 町道大久保線の状況

神山町の残土処理場が人里離れた山林の中にあるが、今年度大埜地にまるごと高専4年生、5年生の宿泊施設建設に伴い進入路建設で総工費1億6千万円費やし進入路で余った土砂を現場に搬入すべき際、大型ダンプ数台でピストン輸送していたが本年3月工事が一段落した際、大久保線を点検したところ舗装のあちこちに穴が開き、ひび割れが生じていた。

損傷した場所はいつ頃補修できるのか。町道の道幅の狭い道路に10トン車の大型ダンプを走行させるのは違反に値するのではないか。

答弁 建設課長

町道大久保線は町道大埜地瀧津線改良工事に伴う発生残土処理のため起点神領西上角国道438号の分岐から約3kmの先終点付近西大久保の運搬ルートを使用している。

修繕は残土の運搬作業が完了した後、調査を行い安全な運行が図れるようにと考えている。残土は10トンダンプでの運搬で舗装に損傷が生じないように積載量を減らして運搬を行っており問題ないと考えている。車両重量25トンを超えるような特種車両の場合は道路管理者の許可が必要であるが、10トンから25トン未満の一般車両となる重量制限の許可を取らなくても大丈夫なので違反に当たらない。

再問

現場を見るとボタ山のように積み上げられており、長年の間にはひび割れが生じ台風や100ミリ以上を越す線状降水帯が発生した場合、濁流と化し上角谷川に氾濫が予想される。下流域には神山温泉、老人ホーム、民家が多数ある。去年発生した熱海の大被害にならないように祈るだけである。もう

少し残土処理方法を考える必要があるのではないか。この点について説明を求めます。

答弁 建設課長

残土を運んだらダンプから移すすぐに重機で整地転圧して流出がないように安全に作業を行っており、地元住民の方とも残土処理の転圧、設置状況につき協議をして十分に配慮して行っている。



町道大久保線の損傷状況

一般質問



志甫 守 議員



志甫議員の録画映像はこちらから

● 質問 1 ● 町のクルマ Lets RUNS

令和5年3月31日をもって町営バスが廃止され、新たな地域公共交通として、令和5年4月1日から町のクルマ Lets RUNS を開始。利用については、神山町に住所を有する方で、事前に登録をされた方が対象となる。運行を開始して1年が過ぎ、当初予算は約3,900万円、しかし令和5年の決算額はタクシー、Lets合わせて約7,900万円。運営費についてはすべて一般財源だが、これからも利用者が増えると思う。町としてはどのような考えがあるのか。

答弁 住民課長

事業開始時の昨年度については、運営費については、すべて一般財源でまかなっている。本年度、令和6年度当初予算については、企業版ふるさと納税1,500万円、昨年度寄附いただいた基金繰入金54万3,000円、諸収入600万円、過疎対策事業債6,790万円等を充当している。他の財源を活用し、一般財源が少なくなるよう努めている。今後もある安定的に財源を確保できるよう、ふるさと納税の支援の拡大等を行っていく。Letsの事業としては主に、通院や買い物への移動手段として、高齢者の方を中心に、町民の方々に十分に活用され、喜ばれていると思っている。今後でもできるだけ現状を維持できるように、財源の確保に努めていく。

再問

将来、町民の方々に税の負担をかけない方法は、考えはあるのか。

答弁 総務課長

将来的な財源確保というところは、神山町は地方税、交付税、国の補助金、県の補助金、寄附金がある。これからもあらゆる制度を利用しながら財源確保に努めていく。

再々問

全国的にもふるさと納税や寄附金等があるが、人口減少による中でもう一度、町が85%、町民が15%の割合が見直す方法はないのか。

答弁 副町長

このLetsの事業は公共交通を考えていく中で、町民の方のすべてに必要な事業として町は取り組んでおり、Letsがあつてよかったと町民のほとんどすべての方がお答えいただくような、非常に有効な事業。心配いただいた財源確保については、アンテナを高くしふるさと納税など県の補助金などを確保していく。今後も来年度の予算編成に向けて検討する。



神山の風景

9月19日(木) 広野に住む大学生3人が、「まったくみんなの広場」の名称で、お話をしたり・本を読んだり・ゲームをしたり年代を問わず地域交流の場を作る、第1回目の活動が旧広野小学校で開催されました。当日は子どもから大人まで総勢30名程の参加がありました。現時点では月に1回開催する予定で、みんなに伝えていければと話されていました。

今回は第3回目の開催で、11月25日(月) 15時30分〜19時となっていますので、交流を深めることで、地域の活性化にもつながると思いますので参加してみてください。
(高橋 義英)



議会の動き

- 11月
 - 21日 議会運営委員会
- 12月
 - 上旬 12月定例会
 - 下旬 議会広報調査特別委員会
- 1月
 - 2日 神山町二十歳を祝う会
 - 12日 神山町消防出初式
 - 28日 徳島県町村議会議長会役員会
- 2月
 - 上旬 勝名地区町村議会議員研修
 - 15日 議会だより第63号発行

表紙写真説明

10月7日神領小学校・広野小学校の5年生の児童18名が、NPO法人まちの食農教育の方々に指導いただきながら、自分たちで育てたお米の収穫をしている様子です。

収穫したお米は、11月の給食に利用されるということです。

(高橋 義英)



8月1日にオープン。待ってました。長かった一年半ぶりに神山温泉に行きました。神山温泉が多くの方々から親しまれ愛されていたのをづくづく思い知らされました。

私は休館の間に、あっちこっち温泉めぐりをしましたが、ストレスがたまる一方。おかし、つるつるもないポカポカもない、おかしい。謎はすぐわかりました。神山産の材木をふんだんに使用し、落ち着いた里山ならではの香り。重曹を含む独特の食塩泉はややぬめりを含み、ゆっくり浸み込み、そして肌がつるつる、身も心もポカポカになりました。さすが、神山温泉やるな〜と思いました。みなさん家族揃って行きませんか。楽しくなりますよ。

(志甫 守)